

世界のデング熱流行状況(更新 11)

2012年7月16日 ProMED 情報

(1) インド

カルナータカ Karnataka 州(7月14日) この3週間で30名以上の患者が報告され、合計69名になります。
デリー-Delhi 州(7月10日) 流行する雨季に入り、これまでに5名が確定診断されました。

(2) パキスタン(シンド Sindh 州カラチ)(7月15日)

7月14日9名の患者が新たに報告され、合計105名となりました。そのうち103名が確定診断されました。

(3) フィリピン

マギンダナオ Maguindanao 州(7月14日) これまでに2名が死亡し、他に52名の患者があります。

イフガオ Ifugao 州(7月11日) 患者数287名で、1名が死亡しています。昨年同期の患者数は149名でした。

東ダバオ Davao Oriental 州カラガ Caraga 地方(7月10日) 1~19才の子供29名が確定診断されました。2名が死亡しています。

(4) ベトナム(7月13日)

この半年間で、24,000名の患者が発生し、そのうち11名が死亡しています。ハノイでは145名の患者が報告されました。

(5) サモア(7月15日)

サモアを訪れているオークランドの青年が多数デング熱にかかったとのことで、そのうち10名はデング熱疑いで現地で治療中です。

(6) ブラジル

セアラ Ceara 州(7月13日) 過去4番目の大流行で、152の市で、患者38,852名が確定診断されました。全州で報告患者数は58,703名です。州都フォルタレーザ Fortaleza が最も多く30,437名で、次いで Maracanaú は、1,195名です。

バイア Bahia 州(7月11日) 1月1日~7月7日までに疑い患者54,363名が報告されました。この期間は例年では流行期ではありませんが、前年比で5月は19%、6月は21%の増加を示しました。

アラゴアス Alagoas 州(7月9日) 今年初めから50の市で流行しており、28で警戒域に達しています。

(7) エクアドル(7月7日)

これまでに12,291名の患者が報告され、そのうち178名が重症で、20名が死亡しました。昨年同期は、患者3,700名が報告され、このうち59名が重症で、4名が死亡しています。

(8) メキシコ

オアハカ Oaxaca 州(7月12日) 170名の子供や若者の疑い患者が発生しました。これは昨年の4倍になります。

オアハカ州 Reforma Putla 市 6月に2名であった患者数が7月に入り25名となり、警戒宣言を出しました。

(9) キューバ(7月10日)

少なくとも5名の死亡患者が報告されました。